# おめでとうございます

## 平成22年度の市政功労者と文化功労者、教育功労者が決定しました。

### 市政功労者

市政功労者の称号は、功績が極めて顕著で、市政の振興発展に貢献した人に贈られます。

**谷口 松太郎さん**（大字弓削田）

昭和56年7月に田川商工会議所常議員に就任後、副会頭及び顧問の要職を歴任し、商工業の振興、地域経済の活性化に大いに尽力してきました。

また、平成6年から青少年の健全育成を目的とした谷口松太郎杯「ジュニアサッカーフェスティバル」を開催するとともに、住民参加の美しいまちづくり協議会会長として、平成17年から総合グラウンド法面にモミジの植栽活動を行い、住民のまちづくり参加意識を醸成し、本市のまちづくり及び観光振興に尽くした功績は絶大です。

**古賀 徳生さん**（本町）

昭和44年12月から26年の永きにわたり消防団員を努めました。

市民への奉仕の精神のもと、研鑽努力を惜しまず、積極的に職務遂行にあたり、部下団員の指導、育成、技術向上に努め、また幾多の災害に対処し、常に第一線にあって災害の軽減に努めました。

また昭和60年から福岡県公安委員会少年指導委員として、安全で安心な地域づくりに努めるとともに、少年及び保護者からの相談に対し誠心誠意をもって指導を行い、少年の健全育成に寄与した功績は絶大です。

**丸塚 清隆さん**（大字奈良）

平成2年4月から現在に至るまで20年の永きにわたり、後藤寺東団地区長として卓越した手腕と公正中立な立場で、地域住民の生活環境、福祉の向上、地域の発展等に献身し、現在も区長として活躍しています。

また、平成5年7月から現在に至るまで、17年以上にわたり田川市区長会理事として会務の円滑な運営に寄与し、その会において、平成19年度及び平成20年度は副会長としてその重責を果たし、現在も常務理事として地域社会の発展に尽力しています。

**柏木 順子さん**（桜町）

平成17年4月の教育長就任以来、「自己有用感を育む教育」を本市学校教育の理念として揚げ、学校教育の充実、社会教育の発展に精力的に努めました。

また、学力の二極化、生活習慣と規範意識の低下等を改善する施策として「学力向上プロジェクト」など先駆的な取り組みを、先頭に立って指揮し、児童生徒の学力向上に大きく貢献しました。

その成果は、県における師表ともなる施策として高く評価され、県内の教育発展に尽力した功績は絶大です。

**下條 駿さん**（大字位登）

昭和50年3月から35年の永きにわたり消防団員を務めました。

消防任務の重要性を自覚し、副団長として団員の規律保持、防火思想の普及に努め、火災その他の災害発生に際しては、消火、防災の指揮にあたり被害を最小限にとどめるなど、地域住民の生命財産の安全・保護のため献身的に消防業務に尽力してきました。

また、平素から将来の消防を展望して消防力の機動化、団員の処遇改善に意を注ぎ、消防の発展と郷土防災の責務に傾注した功績は絶大です。

▼**問い合わせ**　総務防災課（☎44・2000内線321）

### 文化功労者

文化功労者の称号は、功績が極めて顕著で、市民の文化・体育の向上発展に貢献した人に贈られます。

**側嶋 眞智子さん**（番田町）

昭和28年筑豊美術協会展に作品を出品し創作活動を開始し、昭和37年の田川美術協会の創立に尽力しました。翌38年の田川美術協会第1回展に出品して以来、示現会展、筑豊美術展、福岡県美術展、日本美術展覧会に出品し、日本美術展覧会では6度の入選を果たしています。

また、昭和53年から田川美術協会理事、平成4年から筑豊美術協会理事、平成5年からは福岡県美術協会の理事を務めるなど地域文化の発展に尽力し、県内の文化振興に寄与した功績は絶大です。

### 教育功労者

教育功労者の称号は、市の教育、学術、文化の振興に貢献した人または団体に贈られます。

**○文化の充実発展に尽くした功績**

**谷口 寿美子さん**（大字弓削田）

**○学校体育の発展に尽くした功績**

**荒木 和久さん**（大字位登）

▼**問い合わせ**　教育総務課（☎44・2000内線552）